

新たな農業経営指標



農業経営の改善・発展のための基本ツール

農業経営者の皆様へ

「新たな農業経営指標」は、農業経営者の皆さまが自らの経営状況を自己チェックし、経営改善を図るために活用していただくことを目的とするものです。

この指標に毎年1回、定期的に取り組むことにより、皆さまの経営目標の達成に向けて、着実に経営を発展させていきましょう。

認定農業者の方は、毎年の自己チェック結果を経営改善計画の中間年（3年目）と最終年（5年目）に市町村に提出する必要があります。



ここで「新たな農業経営指標」を活用！

指標の仕組み 「新たな農業経営指標」は、次の4つの内容で構成されています。

(1) 経営改善のためのチェックリスト → 2～3ページ

経営改善の発展に欠かせない経営管理、生産、販売・加工、財務、労務等に関する14の取組について、自らの現在の取組状況や改善時期を明らかにすることができます。

(2) 経営データの記入フォーム → 4～5ページ

農業経営の基本となる労働力、農地、生産・販売のデータについて、自ら記入することで、経営の現状と目標を数値の形で客観的に把握できます。

(3) 指標による評価結果シート → 6～7ページ

「取組指標」、「技術指標」、「財務指標」の3つの指標により、現在の経営状況の評価を行い、経営発展の方向性と目標達成への道筋を明らかにすることができます。

(4) 経営振り返り・シミュレーションシート → 8～9ページ

「取組指標」、「技術指標」、「財務指標」を経年比較したり、目標達成状況や経営発展のために改善すべき点、改善すべき具体的な数値を明らかにすることができます。

1 経営改善のためのチェックリスト

記入方法

① 「取組指標」の各項目について、選択肢①～③の中から、自らの経営における現在の取組状況に最も近いもの1つを「取組状況」の欄に記入してください。

分野	番号	項目	取組指標
経営管理	1	目標設定	中長期的に目指す経営の姿を経営目標として定め、家族・従業員等と共有している。
	2	計画立案	目標達成に向けた経営計画を立て、それに従って営農活動を行っている。
	3	評価・改善	定期的に経営状況の確認・評価を行い、経営改善を図っている。
生産	4	農作業記録	毎日の農作業記録を書面で残し、作業の改善に役立てている。
	5	資材調達	資材価格の比較・検討を行い、調達先を決めている。
	6	コスト管理	生産に係るコストを常に管理し、収益の増加を図っている。
販売・加工	7	強み把握	他と比較して、自らの農産物の品質や特性の強みを把握している。
	8	販路確保	複数の販路を比較・検討して販路を決定するなど、安定的な販売のための取組を行っている。
	9	付加価値	リスクへの備えをした上で、食品加工や直接販売等による付加価値の向上に取り組んでいる。
財務	10	資金区分	経営のための資金と家計のための資金を明確に区分している。
	11	財務諸表	財務諸表を整備し、適切な財務管理や税務申告を行っている。
労務	12	労働環境	家族・従業員の意欲を高めるために、労働環境の改善に取り組んでいる。
	13	福利厚生	家族や従業員を含め、必要な社会保険や労働保険、公的年金等に加入している。
地域活動	14	地域活動	地域農業の発展に資する活動を行っている。

記入方法

② 14の項目すべての取組状況を記入した後に、「改善の優先度」の欄を記入していただきます。取組状況が①のものには「－」を、取組状況が②または③のものには、優先度に応じて、○（早急（1年以内）に改善すべきもの）、△（2～3年以内に改善すべきもの）、×（当面取り組む考えのないもの）のうち1つを記入してください。

選択肢

記入例

取組状況	改善の優先度
①	－
②	○
②	△
①	－
②	△
②	△
②	○
①	－
③	×
①	－
②	○
①	－
③	○
①	－

① 明確な目標を立て、それを家族・従業員等と共有できている。
 ② 目標は立てているが、家族・従業員等と十分に共有できておらず、自分でもあまり意識していない。
 ③ 目標を立てていない。

① 文書化した経営計画があり、これを基に、営農活動を行っている。
 ② おおまかな計画はあるが、必ずしも計画を意識せず営農活動を行うこともある。
 ③ 経営計画を立てていない。

① 毎年、経営計画の達成状況を確認・評価し、次期計画の改善に結び付けている。
 ② 経営判断をしたり、問題が発生しそうな時には、経営状況の確認・評価を行うようにしている。
 ③ 経営状況の確認・評価を意識的に行ったことがない。

① GAP等に基づき、生産工程を適切に管理し、作業改善に結びつけている。
 ② 主な農作業については、作業内容や作業時間等の記録を残すようにしている。
 ③ カレンダーに記入したり、メモを残しておく程度できちんとした農作業の記録は付けていない。

① 複数の調達先を比較・検討し、価格・サービス等を総合的に判断して調達先を決めている。
 ② 他の調達先についても調べているが、調達先を変更したことはない。
 ③ 調達先について比較・検討をしたことがない。

① 機械の償却費や支払金利等も含め、すべての生産コストを把握し、その低減に努めている。
 ② 資材費等の直接的な経費については、生産単位（10a、1頭など）当たりで把握できている。
 ③ 生産に係るコストを自分で計算したことがない。

① 市場のニーズや消費者の評価を把握し、強みを活かした販売戦略の構築や商品開発を行っている。
 ② 強みは把握しているが、販売戦略には十分には活かされていない。
 ③ 強みが何かよく分からない。

① 複数の販売先を比較・検討し、総合的に判断して販路を決定している。
 ② 他の販売先についても検討したことがあるが、基本的には販路は固定している。
 ③ 販路を変更しようと考えたことがない。

① 付加価値の向上に取り組むとともに、食の安全や消費者の信頼に関わる取組を行い、リスクに対応している。
 ② 付加価値の向上に取り組んでいるが、食品事故等のリスクへの対応が十分とは言えない。
 ③ 付加価値の向上に取り組んでいない。

① 経営と家計の間の資金移動について、事業主報酬と給与の形で定額とするなど一定のルールを定めている。
 ② 経営と家計の資金を区分しているが、経営と家計の間の資金移動に特段ルールを設けていない。
 ③ 経営と家計の資金を区分していない。

① 貸借対照表を作成し、適切な財務管理を行っている。
 ② 帳簿を付け、青色申告は行っているが、貸借対照表は作成していない。
 ③ 青色申告に必要な帳簿を付けていない。

① 家族や従業員が意欲を持って従事できるよう、労働環境の改善に積極的に取り組んでいる。
 ② 農作業安全への配慮など、一定の労働環境の改善には取り組んでいる。
 ③ 労働環境の改善について、あまり関心をもっていない。

① 家族や従業員等すべてが必要な社会保険や労働保険、公的年金等に加入している。
 ② 必要な保険・年金に経営主は加入しているが、家族や従業員は加入していないものがある。
 ③ 必要な保険・年金のうち、経営主が加入していないものがある。

① 地域農業に関する活動で中心的な役割を担っている。
 ② 関係者とともに地域農業に関する活動に参加している。
 ③ 地域農業に関する話し合いには最低限参加しているが、具体的な活動は行っていない。

2 経営データの記入フォーム

労働力

				[現 状]				[目標 (5年後)] (※)			
農業従事者				農業従事日数 (年間)		農業労働時間 (年間)		農業労働時間 (年間)			
				日		時間		時間			
本人 (経営主)	2	5	0	2	0	0	0	1	9	2	0
配偶者	2	0	0	1	6	0	0	1	2	0	0
長男	2	5	0	2	0	0	0	1	9	2	0
計	(1)	3	名	7	0	0	(2)	5	6	0	0
								5	0	4	0

記入例は、水田作 (都府県) 経営のもの。

生産・販売

		[現 状]						[目標 (5年後)] (※)							
品目		作付面積			生産量	販売金額 (売上)		作付面積			生産量	販売金額 (売上)			
		ha (町)	(反)	a (畝)		kg	円	ha (町)	(反)	a (畝)		kg	円		
米	(4)	9	1	0	(8)	45,000	(11)	6,200,000	1	2	0	0	65,000	9,000,000	
小麦	(5)	1	3	3	0	(9)	56,000	(12)	5,700,000	1	4	0	0	59,000	6,500,000
ぶどう	(6)		7	5	(10)	5,000	(13)	773,000		7	5		9,000	2,000,000	
計	(7)	2	3	1	5				2	6	7	5		12,673,000	
農業関連事業															
農産加工							1,770,000						2,000,000		
計							(14)	14,443,000						19,500,000	
													35	%増	

記入方法

- ① 経営改善計画の申請書及び「青色申告決算書（農業所得用）」等を参照しながら、各項目欄に数字を記入してください。ほとんどの項目が、これらの書類からそのまま転記するか、簡単な計算をすることで記入できます。
- ② 青色申告を行っていない方も、伝票や通帳等を用いて、できる限り該当する項目に記入して下さい。

農地

	[現 状]												[目標(5年後)](※)			
	所有し耕作している農地面積			他から借り入れて耕作している農地面積			基幹作業を受託して耕作している農地面積			合計			合計			
	ha (町)	a (反)	a (畝)	ha (町)	a (反)	a (畝)	ha (町)	a (反)	a (畝)	ha (町)	a (反)	a (畝)	ha (町)	a (反)	a (畝)	
田	8	0		1	3	2	0	1	4	0			1	7	2	0
畑 (牧草地を含む)																
樹園地	8	0													8	0
計	1	6	0	1	3	2	0	1	4	0	(3)		1	6	2	0

財務

[現 状]					[現 状]				
科目		金額 円	割合 %		資産		負債・資本		
科目		金額 円	割合 %		科目	金額 円	科目	金額 円	
収入	販売金額	14,443,000	54		現預金	(20) 12,817,000	借入金	(24) 4,000,000	
	交付金等	10,000,000	37			その他流動資産	82,000	その他負債	2,850,000
	その他雑収入	2,300,000	9		流動資産計		12,899,000	負債計	(25) 6,850,000
	計	(15) 26,743,000	100		減価償却資産	(21) 26,467,000			
経費	材料費	(16) 4,731,000	22		土地	(22) 18,796,000			
	労務費	425,000	2		その他固定資産	40,000			
	減価償却費	(17) 3,938,000	18		固定資産計	45,303,000	資本	(26) 51,352,000	
	地代・貸借料	1,672,000	8		計	(23) 58,202,000	計	58,202,000	
	販売費	4,939,000	22						
	その他	6,321,000	29						
計	(18) 22,026,000	100							
農業所得	(19) 4,717,000								

[目標(5年後)](※)				
収入 計		経費 計		農業所得
28,000,000	21,000,000	7,000,000	48	%増

※認定農業者の方は、目標(5年後)の欄に農業経営改善計画認定申請書の目標を入力して下さい。

3 指標による評価結果シート

※システムに（１）のチェックリストと（２）の経営データの記入フォームを入力すると、評価結果シートが自動で出力されます。

現状と目標

経営の基本データの現状と目標の値が示されています。それぞれの項目について、主業農家の標準的な水準（指標値①）及びトップクラスの主業農家の水準（指標値②）と比較しながら、自らの現状や目標の水準等について確認して下さい。

項目 [フォームの項目]	単位	現状	目標
農業従事者数 (1)	人	3	3
総労働時間 (2)	時間	5,600	5,040
経営耕地面積 (3)	a	1,620	1,800
総売上 (15)	千円	26,743	32,000
総費用 (18)	千円	22,026	25,000
農業所得 (19)	千円	4,717	7,000

全国	
指標値① (主業農家の標準的な水準)	指標値② (主業農家の上位 20%の水準)
2	3
3,092	5,080
956	2,073
14,223	29,939
8,718	18,188
5,011	11,093

指標値は、水田（都府県）経営のもの。

技術指標

技術水準を示す各種指標の値が示されています。それぞれの項目について、上記と同様に２つの指標と比較しながら、自らの技術水準を確認して下さい。

項目 [計算式]	単位	現状	全国		評価
			指標値① (主業農家の標準的な水準)	指標値② (主業農家の上位 20%の水準)	
※単収					
米 (8)/(4)×10	kg/10a	495	528	564	C
小麦 (9)/(5)×10	kg/10a	421	393	401	A
ぶどう (10)/(6)×10	kg/10a	667	1,103	1,265	C
※土地生産性					
米 (11)/(4)×10	千円/10a	68	112	124	C
小麦 (12)/(5)×10	千円/10a	43	27	29	A
ぶどう (13)/(6)×10	千円/10a	103	558	795	C
全体 (14)/(3)×10	千円/10a	89	138	181	C
労働生産性 (15)/(2)	円/h	4,776	5,005	8,370	C
農業従事者1人当たり 農業所得 (19)/(1)/1000	千円/人	1,572	2,759	5,417	C
生産単位当たり 労働時間 (2)/(3)×10	時間/10a	35	27	16	C
売上高材料費比率 (16)/(15)×100	%	18	19	15	B
農業所得率 (19)/(15)×100	%	18	38	48	C

※品目別の指標は指標値①が全国・都道府県の平均値、指標値②が上位 20%の平均値。畜産に関しては、飼養頭羽数当たりの生産性。

財務指標

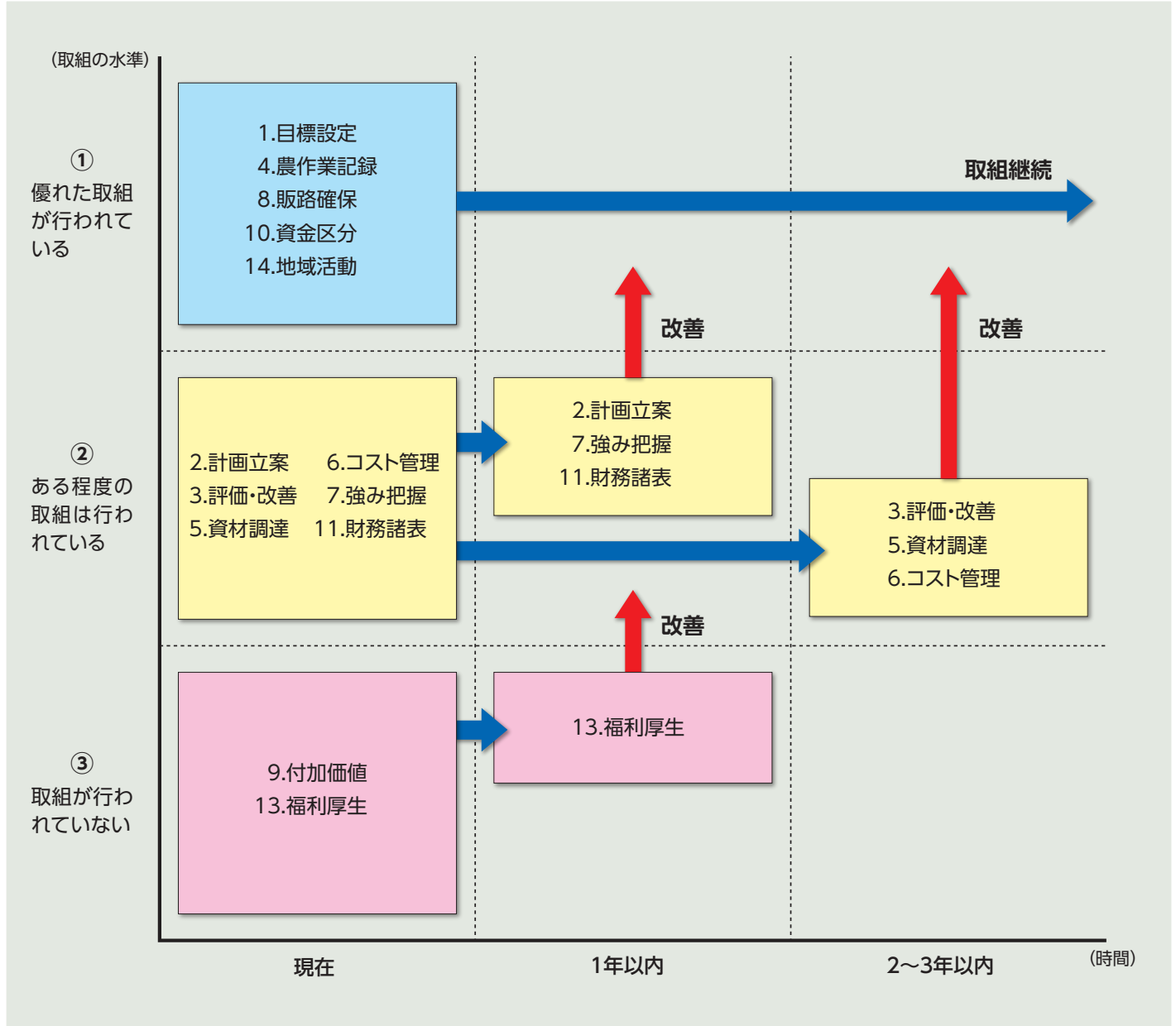
財務状況を示す各種指標の値が示されています。それぞれの項目について、望ましい水準の範囲内にあるかどうか確認して下さい。

項目	単位	現状	全国	
			望ましい水準	評価
売上高借入金比率 (24)/(15)×100	%	15	0～100	○
生産単位当たり 借入金 (24)/(3)/100	千円/10a	25	0～130	○
生産単位当たり 農業用固定資産額 (21)/(3)/100	千円/10a	163	0～130	△
自己資本比率 ((26)-(22)) / ((23)-(22))×100	%	83	30～100	○
売上高現預金比率 (20)/(15)×100	%	48	20～200	○

それぞれの指標を総合的に評価して、今後、どのように経営の改善・発展を図っていくかを検討し、翌年の経営計画に反映させて下さい。
都道府県が独自の指標値を設定している場合は、都道府県別指標値も表示されます。

取組指標

(1) のチェックリストで記入した取組状況及び改善の優先度が図示されていますので、いつ何の取組を改善していくのか確認して下さい。



[技術指標の評価例]

- A トップクラスの水準 (上位 20%内) の項目
- B 平均的な主業農家の経営を上回る水準の項目
- C 平均的な主業農家の経営を下回る水準の項目
- D 算出に必要なデータが把握されていない項目

[財務指標の評価例]

- 望ましい水準の範囲内にある項目
- △ 望ましい水準の範囲外にあり、注意を要する項目
- ▲ 経営と家計の区分がされていない可能性のある項目

4 経営振り返り・シミュレーションシート

※このシートは、過去2年以上のデータを登録している場合のみ出力することができます。

☀️: 昨年から改善している。 ☁️: 昨年から変化がない。 ☔️: 昨年から状況が悪化した。

取組指標

取組指標について、昨年選択した改善の優先度ごとに、今年と昨年の選択肢が比較して表示されます。評価が☁️や☔️の項目については、いつ、どのように改善を図っていくのか検討しましょう。

昨年、改善の優先度が「○（早急（1年以内）に改善すべきもの）」の項目

番号	取組指標	昨年の選択	今年を選択	評価
2	目標達成に向けた経営計画を立て、それに従って営農活動を行っている。	②おおまかな計画はあるが、必ずしも計画を意識せず営農活動を行うこともある。	②おおまかな計画はあるが、必ずしも計画を意識せず営農活動を行うこともある。	☁️
7	他と比較して、自らの農産物の品質や特性の強みを把握している。	②強みは把握しているが、販売戦略には十分には活かされていない。	①市場のニーズや消費者の評価を把握し、強みを活かした販売戦略の構築や商品開発を行っている。	☀️
11	財務諸表を整備し、適切な財務管理や税務申告を行っている。	②帳簿を付け、青色申告は行っているが、貸借対照表は作成していない。	③青色申告に必要な帳簿を付けていない。	☔️

昨年、改善の優先度が「△（2～3年以内に改善すべきもの）」の項目

番号	取組指標	昨年の選択	今年を選択	評価
3	定期的に経営状況の確認・評価を行い、経営改善を図っている。	②経営判断をしたり、問題が発生しそうな時には、経営状況の確認・評価を行うようにしている。	①毎年、経営計画の達成状況を確認・評価し、次期計画の改善に結びついている。	☀️
5	資材価格の比較・検討を行い、調達先を決めている。	②他の調達先についても調べているが、調達先を変更したことはない。	②他の調達先についても調べているが、調達先を変更したことはない。	☁️

技術指標

技術指標について、昨年と今年の数値が比較して表示されます。昨年から数値が悪化した項目については、その原因を明らかにするとともに、必要な改善を行いましょう。

項目	単位	指標値		昨年	今年	昨年との比較	評価
		指標値① <small>(主業農家の標準的な水準)</small>	指標値② <small>(主業農家の上位20%の水準)</small>				
単収	水稻	kg/10a	528	564	570	495	☔️
	小麦	kg/10a	393	401	309	421	☀️
	ぶどう	kg/10a	1,103	1,265	693	667	☔️
土地生産性	水稻	千円/10a	112	124	124	68	☔️
	小麦	千円/10a	27	29	33	43	☀️
	ぶどう	千円/10a	558	795	114	103	☔️
	全体	千円/10a	138	181	99	89	☔️
労働生産性	円/h	5,005	8,370	4,372	4,776	☀️	
農業従事者1人当たり農業所得	千円/人	2,759	5,417	1,333	1,572	☀️	
生産単位当たり労働時間	時間/10a	27	16	33	35	☔️	
売上高材料費比率	%	19	15	19	18	☀️	
農業所得率	%	38	48	16	18	☀️	

財務指標

財務指標について、昨年と今年の数値が比較して表示されます。望ましい水準の範囲外にある項目については、その原因を明らかにするとともに、必要な改善を行いましょう。

項目	単位	望ましい水準	昨年	今年	昨年との比較	評価
売上高借入金比率	%	0～100	18	15	☔️	☀️
生産単位当たり借入金	千円/10a	0～130	24	25	☔️	☔️
生産単位当たり農業用固定資産額	千円/10a	0～130	161	163	☔️	☔️
自己資本比率	%	30～100	81	83	☔️	☀️
売上高現預金比率	%	20～200	44	48	☔️	☀️

左ページ：今年と昨年のデータが比較されているので、どうして今年は昨年との差が発生したのかを振り返り、翌年の経営計画に反映させましょう。

右ページ：目標達成に向けて何に取り組むことが必要かを推測して、翌年の経営計画に反映させましょう。

経営シミュレーション

目標を設定している項目について、達成状況や達成見込みが示されます。このままのペースでは目標達成不可能とされている項目については、目標との差を考慮して、経営改善のペースを見直す必要があります。

目標を設定している項目

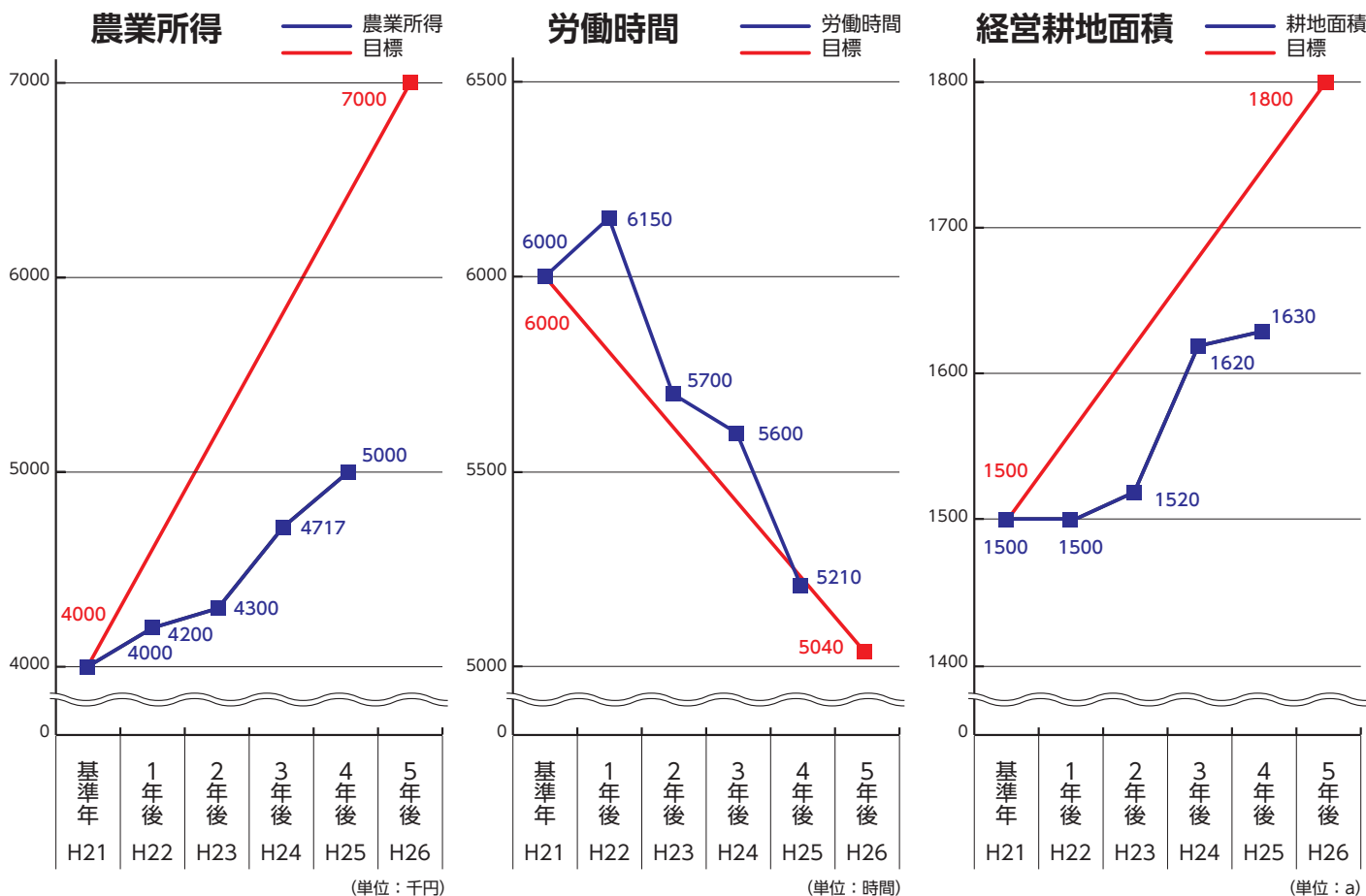
項目	単位	現状	目標	目標との差	達成状況	予測値※	目標達成見込み
総労働時間	時間	5,210	5,040	170	未達成	5,013	このままのペースで改善を行えば目標達成可能
経営耕地面積	a	1,630	1,800	-170	未達成	1,658	このままのペースでは目標達成不可能
総売上	千円	27,111	32,000	-4,889	未達成	27,658	このままのペースでは目標達成不可能
総費用	千円	22,111	25,000	-2,889	達成	22,408	このままのペースで改善を行えば目標達成可能
農業所得	千円	5,000	7,000	-2,000	未達成	5,250	このままのペースでは目標達成不可能

※予測値は、目標の基準年から現在までの変化率を用いて、目標年における値を予測したものです。(基準年の値が未入力の場合は、表示されません。)

グラフ

主要な指標について、5年後の目標達成までの道すじと実際の数値の推移がグラフで示されます。

直近の認定年月日(基準年)：平成21年7月1日
初回の認定年月日：平成11年7月1日



さあ、皆さんも「新たな農業経営指標」に取り組んでみましょう！

指標の活用は決して難しくはありません 次の3つのステップだけ！ とても簡単です！！

ステップ1

まずは、自分で記入するための「**経営改善のためのチェックリスト**」と「**経営データの記入フォーム**」の様式を入手しましょう。

次のページを切り取って、ご活用ください。また、以下の農林水産省ホームページからダウンロードするか、お近くの市町村や農業改良普及センター等でも入手できます。

(以下の「経営改善実践システム」を活用してインターネット上で直接入力することも可能です。)

ステップ2

このパンフレットを参照しながら、入手した「経営改善のためのチェックリスト」と「経営データの記入フォーム」の様式に**自分の経営状況や目標などについて記入**しましょう。

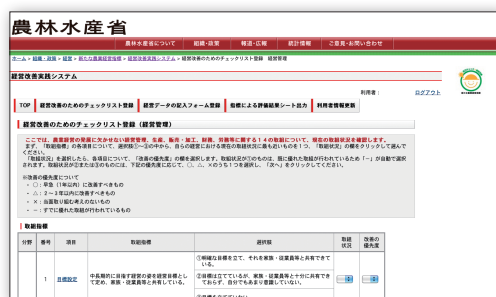
記入方法等がわからない場合は、農林水産省ホームページにある「**農業経営指標による自己チェック用ガイド**」を参照してください。

ステップ3

記入した内容を、農林水産省ホームページにある「**経営改善実践システム**」に入力して「**評価結果シート**」「**経営振り返り・シミュレーションシート**」を作成しましょう。

入力方法がわからない場合は、農林水産省ホームページにある「**経営改善実践システムの操作マニュアル**」を参照してください。

経営改善実践システムのアドレスはこちら
<https://shihyo.maff.go.jp>



[経営改善実践システムの画面]

指標の結果を経営改善につなげましょう

指標に取り組むだけでは経営は改善されません。

「評価結果シート」「複数年比較・評価結果シート」をもとに、自分の経営をどのように改善・発展させていくかを検討して、それを次期の経営計画に反映させましょう！

指標についてのお問い合わせは、お近くの地方農政局まで

北海道農政事務所 経営・事業支援課 011-642-5479
東北農政局 担い手育成課 022-221-6241
関東農政局 担い手育成課 048-740-0384
北陸農政局 担い手育成課 076-232-4318
東海農政局 担い手育成課 052-715-5191

近畿農政局 担い手育成課 075-414-9017
中国四国農政局 担い手育成課 086-224-9414
九州農政局 担い手育成課 096-211-9269
沖縄総合事務局 経営課 098-866-1628
農林水産省 経営局 経営政策課 03-6744-2143

経営改善のためのチェックリスト

[取組指標]

分野	番号	項目	取組指標	選択肢	取組状況	改善の優先度
経営管理	1	目標設定	中長期的に目指す経営の姿を経営目標として定め、家族・従業員等と共有している。	① 明確な目標を立て、それを家族・従業員等と共有できている。 ② 目標は立てているが、家族・従業員等と十分に共有できておらず、自分でもあまり意識していない。 ③ 目標を立てていない。		
	2	計画立案	目標達成に向けた経営計画を立て、それに従って営業活動を行っている。	① 文書化した経営計画があり、これを基に、営業活動を行っている。 ② おおまかな計画はあるが、必ずしも計画を意識せず営業活動を行うこともある。 ③ 経営計画を立てていない。		
	3	評価・改善	定期的に経営状況の確認・評価を行い、経営改善を図っている。	① 毎年、経営計画の達成状況を確認・評価し、次期計画の改善に結び付けている。 ② 経営判断をしたり、問題が発生しそうな時には、経営状況の確認・評価を行うようにしている。 ③ 経営状況の確認・評価を意図的に行ったことがない。		
生産	4	農作業記録	毎日の農作業記録を書面で残し、作業の改善に役立っている。	① GAP 等に基づき、生産工程を適切に管理し、作業改善に結びつけている。 ② 主な農作業については、作業内容や作業時間等の記録を残すようにしている。 ③ カレンダーに記入したり、メモを残しておく程度できちんとした農作業の記録は付けていない。		
	5	資材調達	資材価格の比較・検討を行い、調達先を決めている。	① 複数の調達先を比較・検討し、価格・サービス等を総合的に判断して調達先を決めている。 ② 他の調達先についても調べているが、調達先を変更したことはない。 ③ 調達先について比較・検討をしたことがない。		
	6	コスト管理	生産に係るコストを常に管理し、収益の増加を図っている。	① 機械の燃料費や支払金利率も含め、すべての生産コストを把握し、その低減に努めている。 ② 資材費等の直接的な経費については、生産単位（10a、1頭など）当たりで把握できている。 ③ 生産に係るコストを自分で計算したことがない。		
販売・加工	7	強み把握	他と比較して、自らの農産物の品質や特性の強みを把握している。	① 市場のニーズや消費者の評価を把握し、強みを活かした販売戦略の構築や商品開発を行っている。 ② 強みを把握しているが、販売戦略には十分には活かされていない。 ③ 強みが何かよく分からない。		
	8	販路確保	複数の販路を比較・検討して販路を決定するなど、安定的な販売のための取組を行っている。	① 複数の販売先を比較・検討し、総合的に判断して販路を決定している。 ② 他の販売先についても検討したことがあるが、基本的には販路は固定している。 ③ 販路を変更しようと考えたことがない。		
	9	付加価値	リスクへの備えをした上で、食品加工や直接販売等による付加価値の向上に取り組んでいる。	① 付加価値の向上に取り組むとともに、食の安全や消費者の信頼に関わる取組を行い、リスクに対応している。 ② 付加価値の向上に取り組んでいるが、食品事故等のリスクへの対応が十分とは言えない。 ③ 付加価値の向上に取り組んでいない。		
財務	10	資金区分	経営のための資金と家計のための資金を明確に区分している。	① 経営と家計の間の資金移動について、事業主報酬や給与の形で定額とするなど一定のルールを定めている。 ② 経営と家計の資金を区分しているが、経営と家計の間の資金移動に特段ルールを設けていない。 ③ 経営と家計の資金を区分していない。		
	11	財務諸表	財務諸表を整備し、適切な財務管理や税務申告を行っている。	① 貸借対照表を作成し、適切な財務管理を行っている。 ② 帳簿を付け、青色申告を行っているが、貸借対照表は作成していない。 ③ 青色申告に必要な帳簿を付けていない。		
労務	12	労働環境	家族・従業員の意欲を高めるために、労働環境の改善に取り組んでいる。	① 家族や従業員が意欲を持って従事できるよう、労働環境の改善に積極的に取り組んでいる。 ② 農作業安全への配慮など、一定の労働環境の改善には取り組んでいる。 ③ 労働環境の改善について、あまり関心をもっていない。		
	13	福利厚生	家族や従業員を含め、必要な社会保障や労働保険、公的年金等に加入している。	① 家族や従業員等すべてが必要な社会保障や労働保険、公的年金等に加入している。 ② 必要な保険・年金に経営主は加入しているが、家族や従業員は加入していないものがある。 ③ 必要な保険・年金のうち、経営主が加入していないものがある。		
地域活動	14	地域活動	地域農業の発展に資する活動を行っている。	① 地域農業に関する活動で中心的な役割を担っている。 ② 関係者とともに地域農業に関する活動に参加している。 ③ 地域農業に関する話合いには最低限参加しているが、具体的な活動は行っていない。		

○：早急（1年以内）に改善すべきもの
△：2～3年以内に改善すべきもの
×：当面取り組む考えのないもの
-：すでに優れた取組が行われているもの

経営データの記入フォーム

労働力

		[現 状]		[目標 (5年後)] (※)	
農業従事者	農業従事者数 (年間)	日	農業労働時間 (年間)	時間	農業労働時間 (年間)
計	(1)	名	(2)		

生産・販売

品目	[現 状]		[目標 (5年後)] (※)	
	飼養頭数 作付面積 <small>ha (㎡) (畝)</small>	生産量 kg	飼養頭数 作付面積 <small>ha (㎡) (畝)</small>	生産量 kg
(4)		(8)	(11)	
(5)		(9)	(12)	
(6)		(10)	(13)	
計	(7)			(14)

農地

		[現 状]			[目標 (5年後)] (※)	
田	畑 (牧草 地を含 む)	所有し耕作している 農地面積 <small>ha (㎡) (畝)</small>	他から借り入れて 耕作している 農地面積 <small>ha (㎡) (畝)</small>	基幹作業を委託して 耕作している 農地面積 <small>ha (㎡) (畝)</small>	合計 <small>ha (㎡) (畝)</small>	
		<small>a</small>	<small>a</small>	<small>a</small>	<small>ha (㎡) (畝)</small>	<small>a</small>
計				(3)		

財務

[現 状]			[現 状]		
科目	金額 円	割合 %	科目	金額 円	負債・資本 金額 円
収入			資産		
販売金額			現金		借入金 (24)
交付金等			現預金 (20)		その他負債
その他雑収入			その他流動資産		負債計 (25)
計 (15)			流動資産計		
材料費			減価償却資産 (21)		
労務費			土地 (22)		
減価償却費 (17)			その他固定資産		
地代・賃借料			固定資産計		資本 (26)
販売費			計 (23)		計
その他					
計 (18)					
農業所得 (19)					

※ 設定農業者の方は、目標 (5年後) の欄に農業経営改善計画認定申請書の目標を入力して下さい。

注1. 繁殖牛、肥育牛、養豚の場合は出荷頭数を、ブローラー養鶏の場合は出荷羽数を記入。
 注2. 作付面積は、同一品種を複数回作付をした場合は、のべ作付面積を記入。
 生産量は、切り花の場合は本数、鉢もの場合は鉢数を記入。